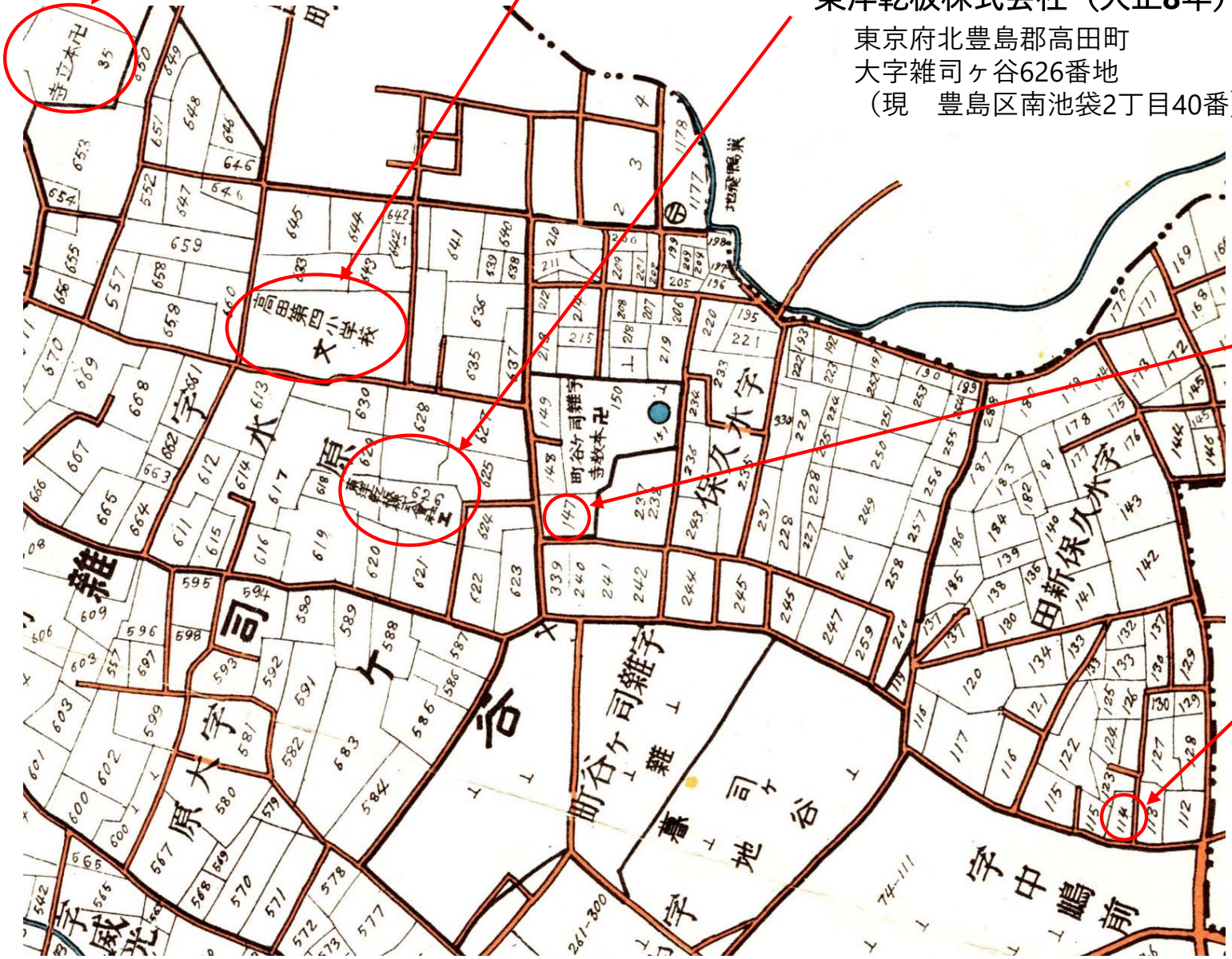
大正14年頃の雑司ヶ谷

本立寺（高橋慎二郎の墓所）

高田第4小学校（その後の日出小学校）→現在の豊島区役所の場所

東洋乾板株式会社（大正8年）

東京府北豊島郡高田町
大字雑司ヶ谷626番地
（現　豊島区南池袋2丁目40番）



高橋慎二郎の居宅（大正2年）

東京府北豊島郡高田町
大字雑司ヶ谷町147番地
（現　豊島区南池袋2丁目41番）

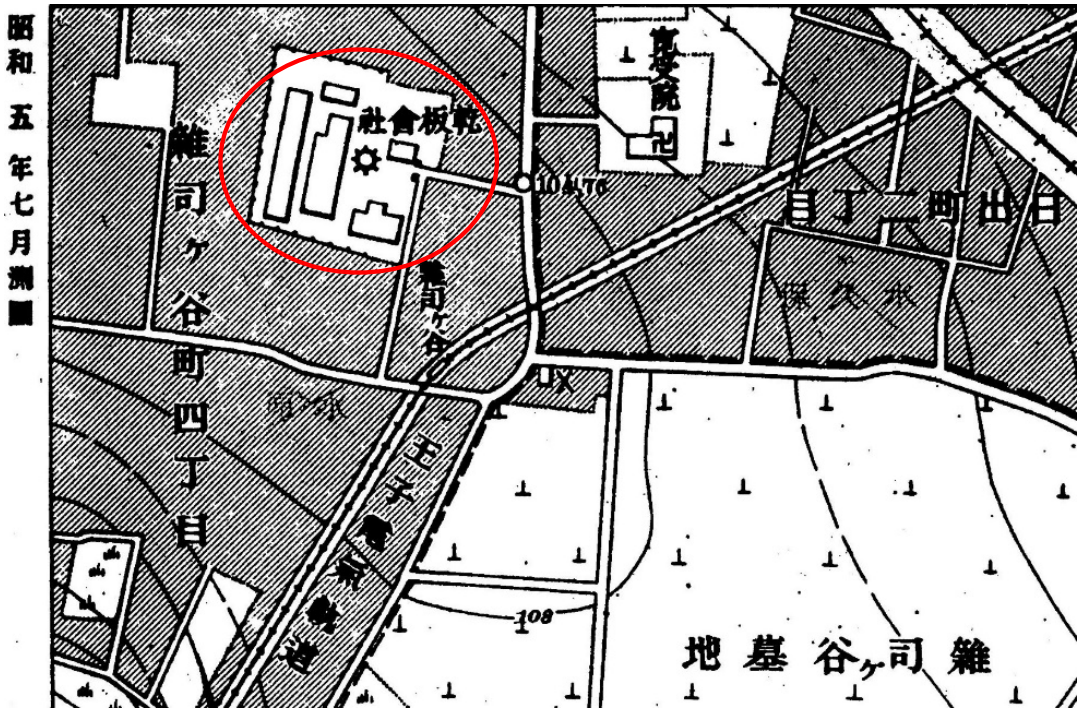
※その後、近隣に転居
東京市小石川区
大塚坂下町８５番地
（現 文京区南池袋2丁目41番）

高橋写真乾板研究所（大正3年）

東京府北豊島郡高田町
大字雑司ヶ谷114番地
（現　豊島区南池袋4丁目23番）

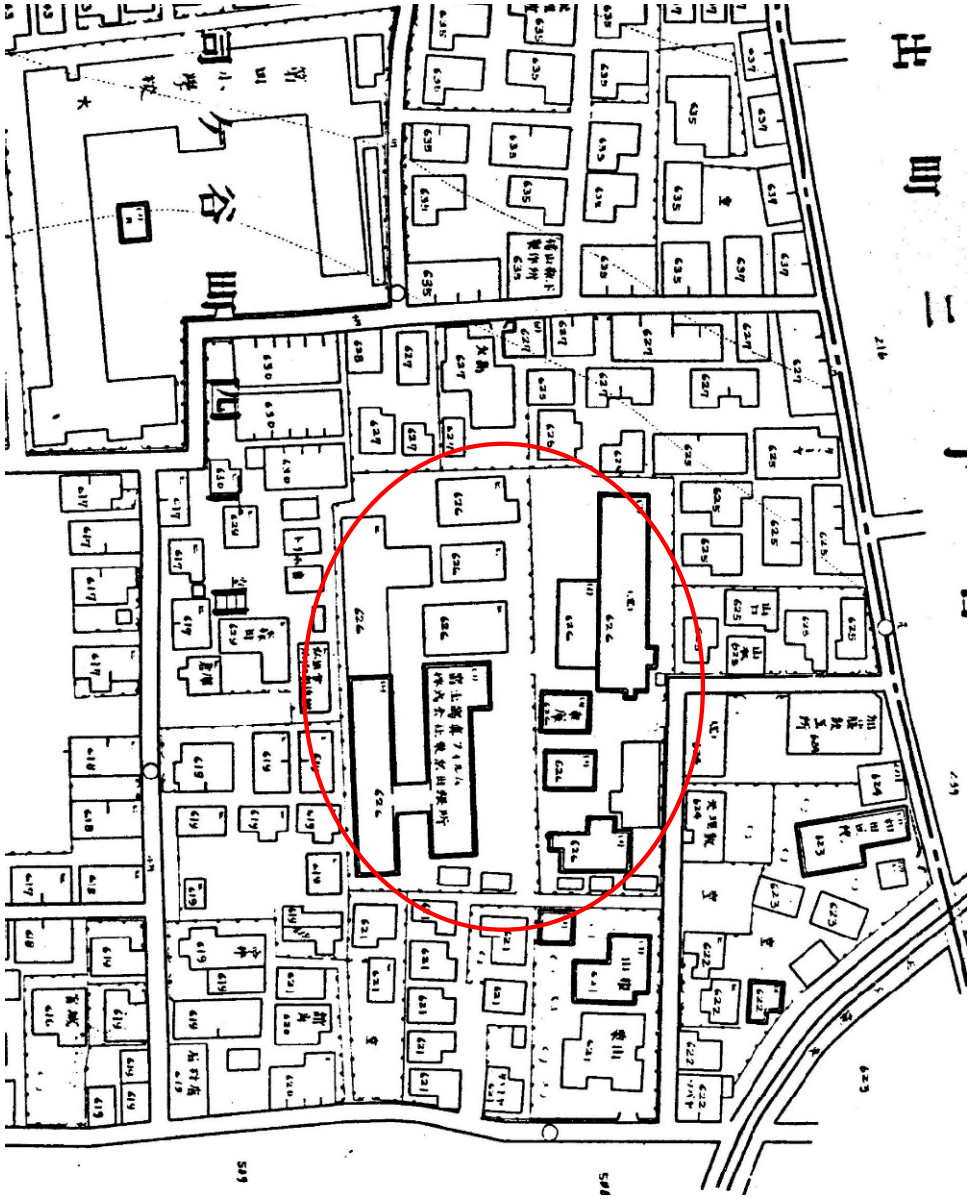
（大正14年、文化地圖普及會発行、
東京府下高田町戸塚町全図、
豊島区立郷土資料館複製
により作成）

昭和5～12年頃の雑司ヶ谷



昭和5年7月（帝都地形図第4集p24、之潮）

「乾板会社」とある



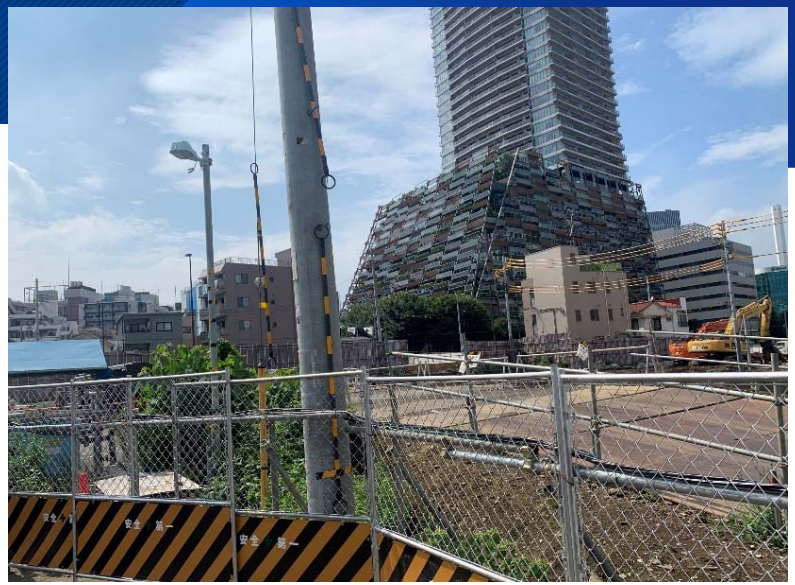
昭和10～12年（火保図（戦前の住宅地図））

「富士写真フイルム株式会社東京出張所」とある

東洋乾板株式会社があった場所

豊島区南池袋２丁目４０番
（東京府豊島郡高田町大字雑司ヶ谷６２６番地）

現在、「南池袋二丁目C地区市街地再開発組合」が、高層ビル２棟を建築中。2025年には、47階と52階のツインタワーが完成予定。共同住宅、店舗、公共施設、事務所 等が入る。



Googleマップより

地形図の標高差でみる雑司が谷

- 豊島区は、武蔵野台地の東端に位置する。
- 雑司が谷は、弦巻川に沿って、周囲より低い谷となっている。
  - ✓ 都電雑司ヶ谷駅付近　・・標高31m
  - ✓ 都電沿いの弦巻通り付近　・・標高25m
  - ✓ 地下鉄雑司が谷駅付近　・・標高29m
  - ✓ 神田川近くの都電学習院下駅・・標高11m
- 弦巻川は、池袋駅西口ホテルメトロポリタンのあたりにあった湧水地の「丸池」を源流に、雑司が谷、護国寺付近をへて神田川に合流した。現在は暗渠化され、弦巻通りとなっている。

（地図アプリ「スーパー地形」で作成）

南池袋2丁目の民家の井戸

雑司が谷周辺は、井戸水が豊富でした。